

紀伊家鷹場に関する資料を読む

史料一 御鷹場記録 (会田家文書 No.809)

一頁目

「 明暦二申年ヨリ

御鷹場記録

御鳥見 会田孫四郎 一

四頁目

申候得者、式町斗茂御定杭方隔り

申候 御拳場外二而、 紀州様

御添場二紛無御座候、右申上候通、少茂

相違無御座候、以上

八条領瓦曾根村

延享元年

名主

子九月十四日

彦左衛門

柴村藤右衛門様

御役所

右之通、御尋逢候而、書付差出申候、

又々重而御尋可被成由御座候段訴申来候

九月十五日

二頁目

②一寛保四子九月四日瓦曾根村

沼井河岸場江、永井伊賀守殿

米置蔵相建候由、其届ケ名主

方方有之候、尤書付者不出候、

届ケ一通り二而、則重而御屋敷役人

中被相廻候節者、宜鋪様執成可

申段申遣候

五頁目

④一當(当) 御鷹場勤書、会田平左衛門 丈左衛門事也

一御鷹場始メ享保二酉年方同

拾巳年迄九年見習相勤申候、

尤御鷹場始メ方親平左衛門御山方

兼役被仰付候二付、私義御鷹場

始メ方本役同断二御鷹場相勤申候

一享保拾巳年本役被仰付、當(当) 丑年まで

廿老年相勤申候、都合當(当) 年迄

式拾九年無懈怠相勤申候

丑五月

③ 乍恐以書付申上候

一西方村名主年寄申上候ハ、西

方村地内江永井伊賀守様御米

置場新蔵御建被成候所、右

相建候場処、御拳場二御座候二付、

三頁目

西方村之者不念二茂可相成哉之由、

右之趣書付ヲ以申上候二付、私被召出

御尋御座候、右蔵建候畑之儀ハ、

西方村地内御座候得共、

紀州様御添場内二而、 御拳場

二而者無御座候、 紀州様方

鷗鷹御遣被遊、兼而御添場内之由

被仰付置候、 紀州様御鳥見

衆江御訴申上相建申候、御拳場

御定杭者西葛西用水以脇ニ

相建、御捉飼場御定杭ハ小林村地内ニ

相建申候、右之御定杭見通

六頁目

⑤一享保拾四酉年方見習被仰付、

當(当) 丑年迄拾七年無懈怠相勤

申候

丑五月

会田兵八

右者延享二丑五月申上写

⑥一仲ケ間中内々願之儀、此度蓮見、

松本兩人江御加増被下候二付、此上残

五人願出候儀者、何とか羨敷奉存候

品々相聞江候間、相止可申段

延享^株二丑六月御加増年々銀五枚宛

⑦一享拾四年酉四月十八日、根岸

小沢三郎兵衛病身二付、御役御

七頁目

免願、則願之通被仰付候

⑧一同西六月十九日、平岡段七被

召出、御鳥見役被仰付候、且又

八木橋傳(伝) 蔵義も御鳥見被仰付候、

七兵衛儀山方御役斗被仰付候段、

是又村々江相触申候、以上

⑨一御屋敷方

鳩ヶ谷宿迄 御道法五里半程

一御屋鋪方

浦和迄 御道法六里拾丁程

一鳩ヶ谷方

浦和迄 御道法三里半程

右寶(宝) 曆六年子十月九日書上

八頁目

⑩一赤芝新田之儀、石神村枝郷二

罷成候、則御判鑑此節御渡し

被成也

享保拾二年未三月廿五日

⑪一林西右衛門儀山方役被仰付候間、

各跡々之通、得御心可被成候、武光嘉右衛門

享保拾二年四月九日

⑫ 覚

一東使八太夫殿、井出弥平太殿御犬八疋

御組中御犬為捉飼御越被成、子猪

生捕御用有之候、大門邊(辺) 壺丁目権現山

二而生捕申候

享保拾二年五月四日

九頁目

⑬一寺口仁左衛門殿方先年真崎利左衛門殿

付札致被置候町繪圖(絵図) 下宿割帳此度

大門宿名主喜右衛門方請取可差出旨

武光嘉右衛門殿被仰候二付、十五日仁左衛門殿江

差出申候、先年町家数と去ル四月

廿六日仕上ケ候町繪圖(絵図) 面家数相違

可有之哉奉存候

享保拾二年五月十六日

⑭ 覚

一私御預場村々殺生禁制之

寺社無御座候、尤先達書上候通

相違無御座候、以上 会田平左衛門

享保拾二年未六月書上

十頁目

⑮一御山方役八木橋七兵衛、平岡段七判鑑

差遣候間、壺枚ツ、請取候、先々江相廻

可被申候

未六月廿三日

会田平左衛門

御預場村々

右者山方衆之判形紙おし

連印二而相渡候、以上

⑯一寺口仁左衛門殿方大門町家数繪圖(絵図)

御用二付、再應(応) 町繪圖(絵図) 認、嘉右衛門殿江

差出申候、本陣方西方迄拾八町、

同所方神明久保迄拾五丁、同所より

新田通坂下迄二拾丁程、間宮村

高札場迄六町、惣家数書上候

右未六月